

防衛副大臣の来庁について

昨年 11 月 24 日に行った 4 項目の政府要望に関して、防衛副大臣から回答がありました。その概要は下記のとおりです。

記

- | | | |
|-------|-----------------------|--------------------|
| 1 日 時 | 平成 23 年 10 月 17 日 (月) | 13 : 20 ~ 13 : 53 |
| 2 場 所 | 岩国市議会会議室 | |
| 3 来庁者 | 防衛副大臣 | 渡 辺 周 (わたなべ しゅう) |
| 4 応対者 | 岩国市長 | 福 田 良 彦 (ふくだ よしひこ) |
| | 岩国市議会議長 | 細 見 正 行 (ほそみ まさゆき) |
| | 岩国市議会副議長 | 石 本 崇 (いしもと たかし) |

5 市長コメント

本日は、昨年 11 月に要望させていただいた 4 項目について、副大臣から回答をいただいた。

運動施設等のスペックについては、すべて市の要望通りの回答内容であり、満足している。

については、私としては、愛宕山用地における国の提案された配置案については了としたいと考えている。

安心・安全対策の中で市民の大きな関心である滑走路運用時間の短縮問題については、日米両国政府間で協議が開始されたこと、また、告示後住宅の防音工事についても、実施に向けて動き始めた状況となっている。

地域振興策については、本市の実情について十分御理解いただき、真摯に対応していただけるものと考えている。また、今年度に予算化されていた地域振興策についての速やかな執行についても確約していただいたところである。

さらに、海上自衛隊の残留については、副大臣から地元の強い要望を重く受け止め、前向きに検討する旨の発言もあり、私としては、残留実現に向け大きく前進したものと受け止めている。

私としては、こうした防衛省の取組みを評価するものである。

なお、愛宕山用地の問題については、今回、国から買取価格(168 億 9 千万円)の提示や市の要望に対する回答がされたことから、早急に議会や市民の皆様の意見も踏まえ、市の方針を取りまとめた上で、山口県と協議してまいりたいと考えている。